

2006トラフィック・セーフティ・フォーラムin熊本

TRAFFIC ADVICE

★交通安全活動をサポートする

9月13日、本田技研工業(株)熊本製作所... ウェルカムホールにて「トラフィック・セーフティ・フォーラムin熊本 交通安全教育を考へる」が開催された

午後12時30分からの開会式では、入野吉勝(株)レインボーマーターズスクール代表取締役社長が「本フォーラムは、交通事故撲滅のための情報交換や勉強の場作りを目的に開催し、今年で9回目を迎えます」と挨拶

「危険」です。企業内安全運転教育について考へる。『安全』は願望であるが、永久に保障されていると考へるのは幻想である



パネルディスカッションのもよう

基調講演を行う西山啓・広島大学名誉教授



多くの参加者が注目したエアバッグ展開



体験視察会では高速ブレーキング体験などが行われた

NEWS REVIEW

●二輪車交通安全キャンペーン 一般ライダーの安全運転技術と意識の向上をめざす

9月10日午前10時30分から午後12時30分、東京都千代田区の内堀通り(二重橋~祝田橋間)および皇居前広場にて、「二輪車交通安全キャンペーン」(主催:警視庁、(財)東京交通安全協会・協力:本田技研工業(株)、日本小型自動車振興会)が開催された



開会の式典では主催者を代表して扇澤昭宏・警視庁交通部交通総務課長と、浦忠雄・丸の内警察署長が挨拶

続いて、キャンペーンの開催時間中、二輪車の解放道路となった内堀通りの二重橋~祝田橋間を使用し、実技教室と親子バイク教室が行われた

●(財)交通事故総合分析センター 第9回研究発表会 交通事故防止、快適な道路環境の実現に寄与するための研究発表



挨拶をする大堀太千男理事長

9月14日、(財)交通事故総合分析センターがスクワール麹町(東京都千代田区)にて「第9回交通事故調査・分析研究発表会」を開催した

はじめに、大堀太千男理事長が開催の挨拶。続いて今年以下の5つの研究発表が行われた

- (1) 道路交通事故情勢の推移と予測
(2) 歩行者事故における人体傷害の分析
(3) 車両属性・人的属性が追突事故頭部傷害へ及ぼす影響
(4) 事故データから見た四輪運転者の世代別分析
(5) 道路交通特性から見た事故の特徴分析
(6) 交差点見通しの良否が運転行動に与える影響の検討

●本田技研工業(株)鈴鹿製作所 社員一人ひとりの安全意識を変えていくために 製作所全体と部門単位で行う取り組み

本田技研工業(株)鈴鹿製作所(三重県鈴鹿市)では事業管理部安全衛生センターが中心となって、社員約8000人への交通安全意識の向上を図っている

活動の核となっているのは、新人社員を含む29歳以下の社員を対象とした乗車(四輪)による体験学習

- 交通安全活動を広げる SAFETY REPO
TOPICS 2 Hamanako Safety Riding Meeting
自分の安全知識と技術をお客様に確認してもらう

交通安全活動を広げる SAFETY REPO

また、安全衛生センターでは各部門で安全活動を推進する安全係長に年2回、被害事故も含めた鈴鹿製作所の社員による交通事故の現状を報告して、事故の原因などを分析したデータを、安全係長を通じて製作所全体で共有している

この決意録は、独自に部門が行っていた取り組みを製作所全体に広げたものだという。このように鈴鹿製作所では部門単位でも交通安全意識を高めるための活動を行っている

- 交通安全活動を広げる SAFETY REPO
交通安全活動を広げる SAFETY REPO
交通安全活動を広げる SAFETY REPO

活動短信 ●交通安全センター 9月

- 交通安全センター 9月
交通安全センター 9月
交通安全センター 9月